

	業種	仕事の現状について	売り上げ高について	不安要素について	佐倉市（千葉県や国でも可）への要望
	造園業	仕事量は多少減っているが、大きな影響は今のところない	減少はしているが他業種に比べれば少ない方だと思う	公園の管理で平日の利用者が以前より増えているので、作業する際に以前より気を使い野外でも感染が心配。従業員の健康管理が心配	今後の仕事量の激減が見込まれるので、地元企業を守るような発注を佐倉市にして欲しい
	建設業	他業種に比べれば影響は少ないが、発注者より工事の延期やストップが現場によってある	休業・リモートワーク・作業員間の距離確保等の対策を講じているので、感覚的には2割減位	事業継承が厳しい会社が、価格競争（ダンピング）で経験不足の仕事でも安く受注しようとするのが不安。現在の佐倉市の入札システムではそれを防止することが困難	佐倉市の発注案件は市内業者へ適正価格で対応してもらいたい。昨年台風の時には昼夜を問わず他の現場を押さえ、復旧活動に努めていた。持続可能なSDGsの時代であれば、地元企業かつ健全企業を守ってもらう様に要請して欲しい
	給油業	緊急事態宣言後の車の利用が激減で需要が減っている	前年比では3割から5割位減る見込み	店舗を占めることが出来ないで、従業員やお客との接触時の感染が不安	売上高が50%減にならないと補助金が貰えないとなると、営業はしないとならないのにギリギリ50%減にはならない事業所は他にもあるのではないかと緩和策をお願いしたい
	中古車業	例年4月は冷え込む傾向にあるので、コロナの影響かどうかを判断するのは難しい	減少しているので社労士に相談して、補助金助成金の申請に動いている	中古車の輸出が減っていて、価格も下がっている状態。長期化すると事業の継続が難しくなるのでは	分かりやすい情報の発信をしてもらいたい
	旅行業	2月からキャンセルが出て、現在はほぼない	全くないので収入はゼロ	収束後もしばらくの間旅行の予約は入らないので、長期的に仕事が無く資金を取り崩しての事業継承が不安	旅行券の登録申請は前年度決算書の資本金を基に行うので、申請時に今期の決算書を提示した場合に登録できない可能性がある。国の申請について緩和してもらわないと事業継続が出来ない
	生花業	2月頃からイベントのキャンセルが続き、個人客も激減している	年間を通して繁忙期の時期であったため、大きな損失	仕入れを減らしているが、設備にかかるランニングコストは変わらないので、収入は減るが支出は変わらない	水道光熱費や固定資産税の減免で、ランニングコストにも目を向けてもらいたい
	葬祭業	葬儀自体は変わらないが参列者が減っている	通夜振る舞いや香典返しが無い又は減っているため、3割から5割減	葬儀の規模が縮小傾向となり、親戚も呼ばない家族葬での対応となると、施設の維持が困難になっていく	生活に必要な事業所なので、断ることが出来ないが赤字経営を続ける体力や従業員の雇用について、情勢金や補助金、金融政策をダイレクトに伝えて欲しい
	飲食業	来店客が非常に少なくなっている	前年比で1割から3割の売り上げ	長期化すると死活問題	地元の店のテイクアウトやデリバリーが出来る事業者の推奨をしてもらいたい。スーパーの一角に飲食店のお弁当屋お惣菜を置いて助けてもらいたい
	飲食業（居酒屋）	常連客は普段と変わらず来店していたが、緊急事態宣言が発令されたので休業することにした	休業中は売り上げがゼロなのは当然だが、必要経費は変わらず掛かるので利益は無い	営業を再開した際に、自店からコロナ感染者が出た場合が不安だか、営業しないと収入が無いので、判断に悩む	何処の業種も同じだと思うが、お酒の仕入れ先や食材の仕入れ先にも影響がある事があまり報道されず、我々の業種ばかり目立っているような気がする
	旅館業	2月下旬からキャンセルが発生している	稼働率は50%位	当事業所でのコロナ感染が発生することが不安なので、新規の受け入れはお断りしている。施設維持も何処まで持ちこたえられるか不安	収束を待つしかないが、すぐに宿泊客が来るとは限らない。海外の観光客はしばらくの間期待できないが利用してもらわないと事業が成り立たない